

よくある質問QA

Park-PFI 導入検討について

Q 中央公園に Park-PFI を導入した経緯は。	A 福山駅周辺におけるエリアの価値の向上を図るため、中央公園をまちづくりの核の1つとして賑わい創出に向け、官民連携による公園空間の新たな活用を検討した。建ぺい率の上乗せや設置管理許可の更新が認められることから Park-PFI を導入。
Q マーケットサウンディングの実施は。	A 導入検討段階及び実証実験後に事業者ヒアリングを行った。公募によるマーケットサウンディングは行っていない。
Q 実証実験について	A Park-PFI 導入にあたり、隣接する中央図書館を活かした中央公園の新たな使い方について検討するため実証実験を行った。 導入後のイメージを周知することができ、実際に使用してもらうことで利便性を感じてもらえた。

公募設置等指針について

Q 基本方針は。	A ①賑わい創出 ②利便性向上及び市民生活の豊かさの向上 ③公園と図書館の相乗効果 ④エリア価値の向上
Q 使用料について金額設定は、どのように行ったか。	A 条例を下回らない金額
Q 公募対象公園施設の種類の。	A 便益施設

事業者選定について

Q 中央公園 Park-PFI 事業に選定された事業者はどこか。	A 「中央公園P-PFI コンソーシアム」であり、地元企業6社からなる共同事業体。 (株)leuk, 福山電業(株), (株)SPDX, (株)ガスエナジーヤブタ, 建内レンタル(株), 篠原テキスタイル(株)
Q 選定の評価結果は。	A 600点中500点の評価を受け、総合得点の6割以上及び懇話会委員全員が0点をつけた項目がなかったため、市が設置等予定者に選定した。
Q 事業者選定時の意見聴取を行った懇話会の構成は。	A 学識経験者や産業支援機関, 商店街関係者, 施設管理者からなる6名で構成。

施設について

Q 公募対象公園施設と特定公園施設の内容は。	A 公募対象公園施設はガーデンレストラン 特定公園施設はあずまや、園路、植栽
Q 施設の管理について	A 公募対象公園施設（ガーデンレストラン）は、事業者 特定公園施設（あずまや、園路、植栽）は、市
Q 市の費用負担額は。	A 公募対象公園施設（ガーデンレストラン）の負担はなし。 特定公園施設（あずまや、園路、植栽）は、7,200千円を上限に買取。（うち1/2は社会資本整備総合交付金）
Q 利便増進施設は。	A 無し

イベントについて

Q 市民が公園での活動に参加できるものはなにか。	A 定例イベント「NIWASAKI」での市民参加型のワークショップや、マルシェ、隣接している中央図書館司書による絵本の読み聞かせ、公園内に図書館の本を設置し自由に読むことができる。
Q 定例イベント「NIWASAKI」主催はどこか。	A 中央公園P-PFIコンソーシアム。パークマネージャーが配置されており、パークマネージャーを中心にイベントを執り行っている。
Q 中央公園でイベントを開催したいときの窓口はどこが担っているのか。	A 市が窓口。 定例イベント「NIWASAKI」とのコラボレーションについての相談は、中央公園P-PFIコンソーシアムが窓口。

その他

Q Park-PFI導入で変化した点は。	A ・民間資金の活用により、財政負担の軽減につながった。 ・ガーデンレストランや定例イベントにより賑わい創出や利用者の利便性向上、またイベントでは、図書館が屋外図書として機能しており、相乗効果が生まれている。
Q Park-PFIの効果と課題についての貴市の考えは。	A （効果）民間事業者のノウハウによって作られる施設や公園の活用が公園利用者の利便性向上となり、賑わい創出につながっていると考えます。 （課題）ハード面の整備よりもソフト面の公園の活用等について事業者と連携し、賑わい創出やエリアの価値向上に向けて20年間取り組む継続化。